

塘研究室現地調査報告

5月14日に裏磐梯にて現地調査を実施しました。調査参加者は佐藤椋一君と塘の2名で、佐藤君の卒業研究の調査（蝶類のセンサス調査、蝶類・直翅類・脈翅類・長翅類のファウナ調査、地表徘徊性甲虫類のファウナ調査のためのピットフォールトラップ設置）で、今月予定している3回の調査の1回目でした（ニチレイ社有地と中瀬沼・レンゲ沼自然探勝路沿い）。翌15日にはD1生の緒勝君と佐藤君が2回目の調査を実施しました（弥六沼から裏磐梯スキー場までの道沿い、五色沼自然探勝路沿い【蝶類のセンサス調査のみ】）。18日に佐藤君が3回目の調査を予定しています（トラップの回収のみ）。

株式会社ニチレイ社有地内の池周囲ではイトトンボ類（エゾイトトンボがほとんど）が莫大な数羽化しており、コサナエも活動を始めていました。2の池周辺の湿地に生えているヤナギ類にはスゲハムシやヤナギルリハムシ、ハナギハムシが訪れていました。蝶類はスジグロシロチョウ類、ルリシジミ類、カラスアゲハ、越冬したヒオドシチョウを確認しました。シリアゲムシ類（長翅類）もキシタトゲシリアゲ、プライアシリアゲを採集しました。中瀬沼・レンゲ沼自然探勝路では越冬したテングチョウとヒオドシチョウ、春型のサカハチチョウ、スジグロシロチョウ類、ツマキチョウ、ベニシジミを確認しました。湿地でセンブリ類（広義の脈翅類）を採集しました。

前回の調査とはうってかわって気温がかなり高く、体力は消耗しましたが、エゾハルゼミの合唱とキビタキの「ツクツクホウシ」のようなさえずりを聞きながらの気持ちの良い調査でした。



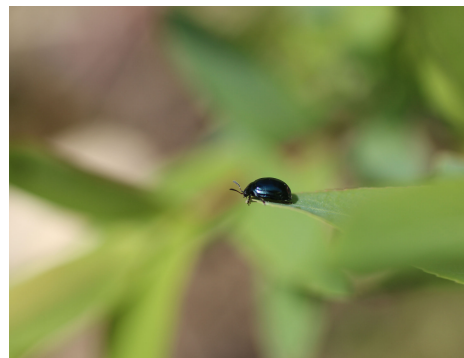
調査中（ニチレイ社有地内）



スゲハムシペア（ニチレイ社有地内）



ヤナギハムシ（ニチレイ社有地内）



ヤナギルリハムシ（ニチレイ社有地内）



コサナエ（ニチレイ社有地内）



越冬テングチョウ（中瀬沼自然探勝路）